

# SPA2102 および SPA3102 電話アダプタの応答ステータス スコード処理

## 目的

セッション開始プロトコル ( SIP ) は VOIP のようなコミュニケーションのセッションを制御するために使用されるシグナリング プロトコルです。 SIP は TCP、UDP または SCTP で動作できます。 応答ステータス スコード処理はユーザがさまざまな操作が gets ある特定のエラーを行うとき遊ぶべきかどの特殊可聴音を ( 坐らせて下さい ) 判別します。 この資料によって SPA2102 および SPA3102 電話アダプタで設定する方法を置かれますトーンが説明されています。

## 適当なデバイス

- SPA2102
- SPA3102

## 手順

設定によっては SPA2102 か SPA3102 電話アダプタでトーンが置かれます

Secondary DNS:	
LAN IP Address:	192.168.0.1
Broadcast Bytes Sent:	1368
Broadcast Bytes Recv:	10277
Broadcast Bytes Dropped:	0

Undo All Changes

[Admin Login](#) | [basic](#) | [advanced](#)

ステップ 1. SPA2102 か SPA3102 電話アダプタのための Web ベース ユーティリティの下部で「Login」を『Admin』をクリックして下さい。

Secondary DNS:	
LAN IP Address:	192.168.0.1
Broadcast Bytes Sent:	1368
Broadcast Bytes Recv:	13564
Broadcast Bytes Dropped:	0

Undo All Changes

[User Login](#) | [basic](#) | [advanced](#)

ステップ 2. 変更できる設定およびページの数をもつために SPA2102 または SPA3102 のための Web ベース ユーティリティの下部で『Advanced』をクリックして下さい。

Router	<b>Voice</b>							
Info	System	<b>SIP</b>	Provisioning	Regional	Line 1	Line 2	User 1	User 2

ステップ 3.音声 > SIP を選択して下さい。これは Settings ページ SIP に指示します。

Response Status Code Handling			
SIT1 RSC:	<input type="text"/>	SIT2 RSC:	<input type="text"/>
SIT3 RSC:	<input type="text"/>	SIT4 RSC:	<input type="text"/>
Try Backup RSC:	<input type="text"/>	Retry Reg RSC:	<input type="text"/>

ステップ 4 応答ステータス スコード処理エリアでは、次の値を入力して下さい:

- SIT1 RSC —適切なのための SIP 応答ステータス スコードは坐ります。たとえば、この値が 404 に、ユーザがコールをし、404 の障害コードが戻る時、SIT1 トーン遊ばれれば設定される場合。

注：追加注文かビジートーンはすべての不成功なステータス スコードのためにデフォルトで再生されます。

- SIT2 RSC は— SIT2 をするためにどれで誘うべき SIP 応答ステータス スコードある調子を与えます。

- SIT3 RSC は— SIT3 をするためにどれで誘うべき SIP 応答ステータス スコードある調子を与えます。

- SIT4 RSC は— SIT4 をするためにどれで誘うべき SIP 応答ステータス スコードある調子を与えます。

- バックアップ RSC を—現在の要求のためのバックアップサーバを再試行する SIP 応答コード試みて下さい。

- 待つために Reg RSC を—失敗の後で前の登録 ATA デバイスが登録することを試みる前に間隔再試行して下さい。デフォルトは 30 です。

ステップ 5.すべての変更を『SUBMIT』をクリックして下さい。